

## 9-1 スマホの持たせ方

みなさんのご家庭では、お子さんにスマホを持たせていますか？

これらは便利である一方、これは問題だという面もあわせ持っています。そのことについて話し合ってみましょう。

### エピソード

現在、スマホを持っていない子どもとその親の思いです。

子ども：私は、スマホを持っていません。友だちがみんな持っているので、スマホが欲しくてたまりません。今まで何度も親に頼みましたが、買ってもらえません。

親：最近、スマホなどが関係する事件や事故が気になって、子どもに持たせることが心配です。



## ワーク1

親にとって、スマホを子どもに持たせた場合のメリット・デメリットを考えてみましょう。

【メリット】

【デメリット】



## ワーク2

スマホを持たせるとしたら、どのようなルールが必要だと思いますか？



## 子育ての参考に…

## ケータイ・スマートフォンは安全なものだと思いませんか？

- 「友だちがみんなケータイ・スマートフォンを持っているから買ってほしい。」と言われました。うちの子だけ持っていないのはかわいそう…。



## ケータイ・スマートフォンにはこんな危険が！

- 迷惑メール……勝手に送られてくるメールの中には、出会い系サイトやワンクリック詐欺へのわなが仕掛けられていることを知っていますか？
- 有害サイト……インターネットでは、アダルトサイトや薬物購入サイト、自殺を誘うサイトなどに簡単につながってしまうことを知っていますか？
- ひぼう・中傷…学校裏サイトやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)への書き込みで、ネット上のいじめが発生していることを知っていますか？

## こんなことに注意しよう！

- 親がきちんと使い方を理解し、子どもに危険性を伝えましょう。
- ケータイ・スマートフォンの必要性を子どもと話し合い、持たせるときは通話機能だけにしましょう。
- フィルタリング機能を設定するなど、使える機能を制限しましょう。
- ケータイ・スマートフォンの契約者は、保護者名義にしましょう。
- 寝るときにはケータイ・スマートフォンを部屋に持ち込まない、夜 10 時以降は使わないなど、家庭でのルールを決めましょう。





## コラム

## メディアとの接し方を考えましょう

子どもたちは、スマートフォン、携帯電話、タブレット端末、携帯型ゲーム、テレビ、パソコン、DVDプレーヤーなど、様々な電子メディア機器に囲まれて生活しています。小学生のメディア機器の利用率はスマートフォンが約50%、タブレットが約25%という調査結果があります。メディア機器はとても便利なものですが、ネットゲームやインターネット利用を何よりも優先して、自分の意志ではやめられなくなったり、日常生活に支障を来してしまったりする「ネット依存」に陥ることがあります。ネット依存は、睡眠時間、睡眠の質に影響を及ぼす可能性があるほか、健康問題や社会問題を起こしうるものであり、早期発見・早期対策が必要です。

脳は異なった機能を持ついくつかの領域に分かれています。脳の前方にある前頭連合野※は、注意、意志・思考、計画性、創造性など高次精神機能と関係している場所です。前頭連合野や大脳辺縁系※の機能は子どもたちの健やかな発達に重要な機能を発揮しており、前頭連合野の感受性期（臨界期）※は、シナプス増減の推移から推論すると8歳くらいがピークで20歳くらいまで続くと思われています。この時期における、社会関係の正しい教育と学習が大切です。

## メディアに関する家庭でできること

- 本当にメディア機器が必要かどうかを、一緒に考える。
- ルールを一緒に考えて、一緒に決める。
- 常に見守り、定期的にチェックする。

## 〈用語説明〉

※前頭連合野（ぜんとうれんごうや）：大脳皮質の前部（額や眼の後ろ）にあり、注意、記憶、意思・思考、計画性、創造性など高次精神機能と関係しているとされている。

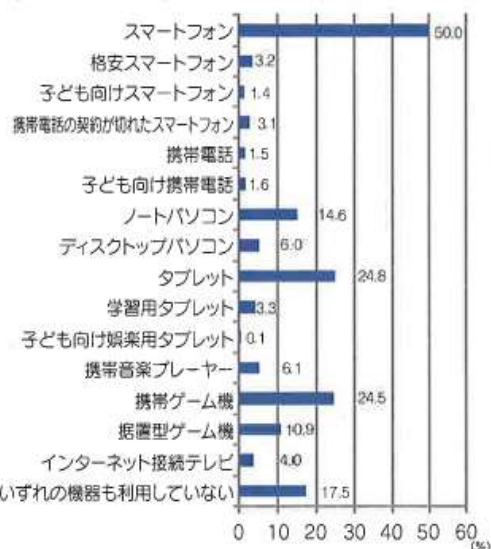
※大脳辺縁系（だいのうへんえんけい）：大脳皮質内側部の領域で、帯状回、扁桃体、海馬（体）、海馬傍回等からなる。他の大脳皮質（大脳新皮質）と比べて発生的に古い型の皮質である。情動、記憶、本能行動、動機付け、自律神経調節など多彩な機能に関係している。

※感受性期（かんじゅせいき）臨界期（りんかいき）：脳の機能は環境からの入力や経験、学習などによって変化するが、この変化は生後発達の一定の時期に特に起こりやすいので、この時期を感受性期あるいは臨界期という。

※シナプス：神経細胞と神経細胞または他の細胞との接続関係及びその接合部の称。この接続関係は、脳や脊髄の灰白質や神経節に集中する。シナプスを介して細胞の興奮が伝達される場合と、次の細胞の興奮が抑制される場合とがある。

参考文献 文部科学省「情動の科学的解明と教育等への応用に関する検討会報告書」「情報化社会の新たな問題を考えるための教材 指導手引き書」

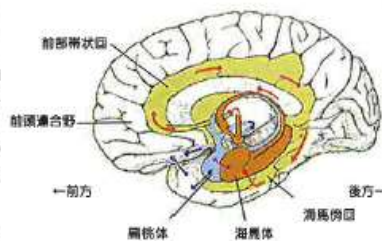
子どものインターネット接続機器の利用状況(小学生)



内閣府「平成 29 年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」



そのためにも、インターネットなどメディアに関する知識を親も子どもと一緒に学び、メディア機器を上手に利用するためのルールを家庭で話し合って決め、家族で守りましょう。そして、子どもたちの健やかな成長を後押しできるように、家族以外の大人や異年齢の子どもたちと触れ合える活動や、自然の中でいろいろなものを見たり触れたりできる体験活動をさせましょう。



## 相談窓口 不安なとき、困ったときにはすぐ相談！

- ◆写真が許可なくネット上に掲載され、削除依頼をどうしていいのかわからない。
- ◆誹謗中傷された書き込みがあるサイトを見つけたが、どう対応すれば良いのか？  
→ 違法・有害情報相談センター <http://www.ihaho.jp/>
- ◆架空請求・高額請求などのトラブル  
→ 消費者ホットライン TEL0570-064-370
- ◆迷惑メールの対応  
→ 日本データ通信協会迷惑メール相談センター  
<http://www.dekyo.or.jp/soudan/>
- ◆ネットいじめなど  
→ 全国 web カウンセリング協議会  
<http://www.web-mind.jp/mirai/>
- ◆茨城県いじめ・体罰解消サポートセンター  
→0296-22-7830

## 安全・安心なインターネット利用について学べるサイト

- ◆インターネット協会「インターネットにおけるルール&マナー検定」  
～ ネットスキルのチェック
- ◆モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（EMA）  
～ わかりやすくネットの危険性の解説
- ◆デジタルアーツ 「スマホにひそむ危険」疑似体験アプリ（無料）



- ◆スマートフォン・携帯ゲーム機等の安全な使用の推進に向けた取組  
（茨城県教育委員会 HP）  
<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/compulsory-education/student-guidance/device-safety-use/>



**Q. 携帯電話やスマートフォンを持たせることへの心配****【Answer】**

携帯電話やスマートフォンはパソコンと同様な機能があり、大変便利な道具です。反面、使い方を誤るとさまざまなトラブルに巻き込まれる危険性があります。

不特定多数の人と通信ができるインターネット掲示板やコミュニケーションサイト（SNS）で被害に遭ったり、有害サイトに誘導され高額料金を請求されたりする場合があります。また、特定の個人を誹謗中傷するネット上の被害者又は加害者になったりするなど大きな社会問題となっています。

夜遅くまでのメールの交換やゲーム、SNSは、生活のリズムを崩し、学校生活にも悪影響を与えます。携帯電話やスマートフォンを安全・安心に使うためには、その必要性と責任をお子さん自身が自覚することが何よりも大切です。お子さんの利用の実態を知り、フィルタリング機能を活用することだけでなく、利点や危険性などについてよく話し合い、親子でルールづくりをすることが重要です。

**Q. 高校生になる娘のラインの使い方****【Answer】**

高校生にとっては、学習活動や学校生活上必要な情報を迅速に伝える方法として、ラインというアプリを使うことがあるようです。

例えば、部活動などでは生徒間の連絡網として、独自に活用している場合もあります。ですが今回の場合、娘さんの様子から、日常のお喋りのような軽い内容であるようです。また、もしかすると、ライン上で娘さんに不利な内容が書かれていたのかもしれませんが。このようなトラブルを防ぐために、娘さんが友達同士でラインを使う上でのルールについて話し合える場があるとよいと思います。その中で、夜遅くまで使うのは相手に迷惑がかかること、大切な話はメールでは伝わりにくいので直接会って話をした方がよいこと、他人の中傷はしないことなどに気が付くことでしょう。しかし、すでにラインに書き込んである内容に悩んでいたり、トラブルがあるようでしたら、娘さんが友達とそのような場をつくるのは難しいかもしれません。その場合は、学校の先生に相談してみてください。インターネットでのいじめに発展しないようにしたいものです。